

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

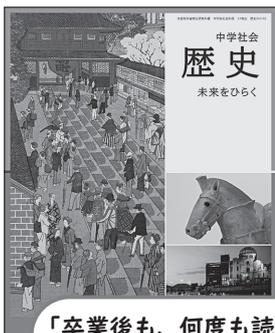
受理番号	学校	教科	種目	学年
105-8	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1-3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	歴史 017-72	中学社会 歴史 未来をひらく		

## 1. 編修の基本方針

### 学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
 そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

この教科書は、教育基本法に示された「教育の目標(第2条の第1～5号)」と、学習指導要領に示された「歴史的分野の目標」を達成し、社会科のねらいである「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の柱と三つの方針に基づき編修しています。



「卒業後も、何度も読み返したくなる教科書」を目指しました!

### 特色2

市民的教養の基礎・  
基本が身につく教科書



社会の成り立ちと諸課題、その解決に向けた世界の動きを理解し、社会参画に向けて必要な技能を身に付けることができます。

【知識・技能】

### 特色1

社会を読み解き、  
学び合える教科書



社会の諸課題を捉え、その解決に向けて協働しながら多面的・多角的に考察し、持続可能な社会の創造のために発信できる力を育みます。

【思考力・判断力・表現力等】

【育てたい生徒像】

持続可能な社会を  
創造する市民の育成



この教科書で  
いっしょに  
学習を進めて  
いきましょう。

### 特色3

主権者として、ともに  
生きる力を育む教科書



社会に関心を持ち、多様な人々と協働しながら諸課題の解決に向けて自ら行動していこうとする態度を涵養します。

【学びに向かう力・人間性等】

# 特色1

## 社会を読み解き、学び合える教科書

【思考力・判断力・表現力等】

### 「問い」を軸にして課題解決的に追究していく構成

単元(章)を通して課題解決的に学習を進められるようにして、課題を捉え、見通しを立て、解決していく力の育成が図られるようにするとともに、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学習が促されるようにしました。

#### 導入ページ—課題を捉え、見通しを立てる

これから学習する時代をイメージしやすい資料を、「LOOK!」に示された視点を手がかりに読み解き、問題意識を醸成しつつ、**単元(章)を貫く課題**を捉え、共有します。

p. 20-21

「LOOK!」は、変化、差異、比較など「**見方・考え方**」を働かせながら**導入資料を読み解く**ことを促します。

#### LOOK!

- Q1 縄文時代と古墳時代の想像図には、どのようなものが描かれているだろうか。人々はどのように暮らしていたのか、想像しよう。
- Q2 縄文時代と古墳時代の器や像を比べると、どのような点が違うだろうか。なぜそのような違いが生まれたのだろうか。
- Q3 人々の暮らしはなぜこのように変化したのか、予想してみよう。



**見通し**をもって追究を進められるように以下を明示しています。

- ・この単元を通して追究する問い
- ・各節のタイトルとキーワード

人類は、いつから「人類」としての歴史を歩み始めたのでしょうか。そのなかで、世界ではどのように人々が暮らしを営み、日本ではどのように「国」の形がつくられていったのでしょうか。古代・原始の歴史を学びながら、人類のおこりについて考えてみましょう。

第2章の問い 「国」はどのように生まれたのだろうか。

#### 学習の見通し

- 1節 人類の出現と文明のおこり  
農耕や牧畜、石器、金属器、文字、国家
- 2節 日本の成り立ちと倭の王権  
土着、朝鮮、ムラとクニ、罽
- 3節 大帝国の出現と律令国家の形成  
隋・唐、十六家の憲法、文化の革新、公地公民
- 4節 貴族社会の発展  
農民・税、遣唐使、租税政治、仮名文字

#### 本時ページ—課題について追究する

p. 22-23

1時間の授業ごとの追究課題を提示しています。

「**確認!**」: 学習したことを確認し、整理します。

「**表現!**」: 学習したことを活用し、自分で考え、言葉で表現します。

#### 学習課題

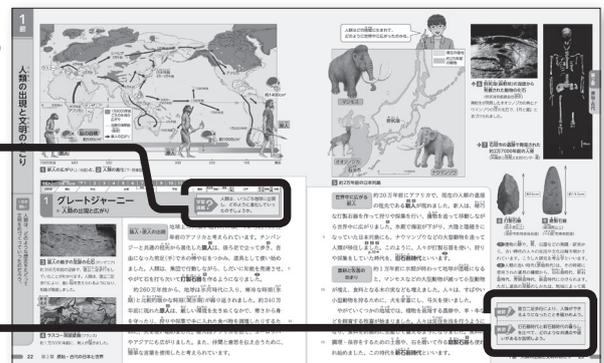
人類は、いつごろ地球に出現し、どのように進化していったのでしょうか。

#### 確認!

直立二足歩行により、人類ができるようになったことを確かめよう。

#### 表現!

旧石器時代と新石器時代の暮らしを比べて、どのような共通点や違いがあるか説明しよう。



#### 学習のまとめと表現

p. 56-58

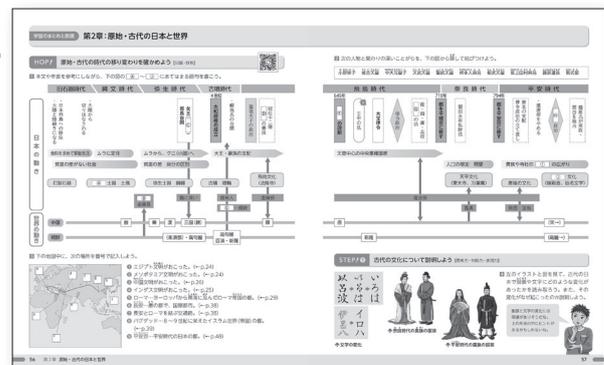
章の最後に設けられています。学習内容を振り返り、基礎・基本の定着を図ります。また、「**歴史的な見方・考え方**」を働かせて時代の転換点や特色を考察し、表現する学習活動を行います。

#### 学習のまとめと表現の流れ

**HOP!**  
知識・技能

**STEP!①**  
**STEP!②**  
思考力・判断力・表現力等

**JUMP!**  
思考力・判断力・表現力等  
(時代の転換点・特色を表現)



**JUMP!** 「歴史的な見方・考え方」を使って、時代の特色を考えよう【思考力・判断力・表現力】

転換点はどこだろう【歴史】

人類の歴史が始まったのは、いつからだろう。歴史的な変化にとって重要なできごとや理由を、自分なりに考えてみよう。

人類の歴史が始まったのは、( )とち/ため。

「何を学ぶか」「どのように学ぶか」をわかりやすく示した基礎・基本がしっかりと身につく紙面構成

1 単位時間を見開き2ページとし、文章や資料の読解を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得を図れるように、また、習得した知識・技能を活用して自分の考えを表現する活動が促されるように配慮して紙面を構成しています。

タイトル 学習内容を象徴する言葉を用い、関心・意欲を喚起します。
学習課題 この時間で何を追究していくのかを示して学習を見通します。
時代スケール この時間で学習する時期を意識することができます。

資料ナンバー 本文との関連を示しています。

導入資料・中心資料

この時間の学習のきっかけや追究の中心となるような資料です。読み解く視点をキャラクターが語ります。

側注解説

本文の記述や言葉を補足して詳しく解説したものです。

Main content area showing textbook pages with annotations and callouts. Includes a map of Japan and various text boxes.

歴史の窓

視点を変えて学習内容を捉え直すコラムです。

参照ページ

内容が関連しているページや、参考になる巻末資料のページを示しています。

p. 64-65

確認と表現 「確認!」は、この時間に学習したことを確認・整理し、「表現!」は、学習してきたことを活用して表現することを促します。

LOOK!

この絵は、中世に新しい仏教の布教のために旅をした、一遍の姿を伝える「一遍上人絵伝」の一場面です。この場面では、一遍が市を訪れています。

▲ LOOK! 追究のきっかけとなる視点を提示。(p.60)「学習のはじめに」に掲載

THINK!

1と2は、どちらも『蒙古襲来絵詞』の一場面です。p.68の「歴史の技」も参考にし

▲ THINK! 追究に使う資料の読み取り・考察のポイントを提示。(p.75)

TRY!

1なぜ、鎌倉の中央に若宮大路がつくられたのか考えよう。

▲ TRY! 学習を深めたり、歴史から学んだことを生かして今の社会の課題について考えたりする視点を提示。(p.91)「特設ページ」に掲載

歴史の技

歴史の学習で身に付けさせたい“技”を磨く「歴史の技」

個人やグループでの活動を通じて、歴史の学習で身に付けたい技能や表現力を養うコーナーを充実させています。

Historical Skill: Reading News. Includes a QR code and a newspaper clipping about a woman's story.

p. 219

Historical Skill: Reading Family Trees. Includes a QR code and a family tree diagram.

p. 41

Historical Skill: Reading System Diagrams. Includes a QR code and a flowchart diagram.

「歴史の技」を掲載した全てのページで、二次元コードから関連する内容の動画を見て理解を深められるようにしています。

# 【特色3】主権者として、ともに生きる力を育む教科書 【学びに向かう力・人間性等】

社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を涵養するページが充実

**歴史学習の終わりに** ～歴史を振り返って、未来を構想しよう～

私たちが生きる現在の日本は、どのように成立したのだろうか

私たちはこれまで、現在の日本や世界が、どのような歴史の上に成り立っているか学んできました。さまざまな歴史資料を読み解き、日本と世界の深い世界の歴史も学びながら、日本の歴史の大きな流れを理解することができたでしょう。また、学習の中には、時期や流れ、長短、関連など「歴史的新見方・考え方」(p.9)を活用して、それぞれの時代の特色や、時代の転換点について考えてきました。

まずは教科書を使って、日本の歴史の大きな流れを振り返ってみましょう。

あなたは、日本の歴史を自分なりに整理してみました。どの「時期」や「出来事」が、歴史を大きく変えたか、歴史を振り返って考えてみましょう。

**TRY**

それぞれの時代や日本の歴史の中で、私たちが生きてきた中で、物事を考えるようになったこと、気づき、学びを振り返りましょう。また、考えを交換し合い、歴史を振り返りましょう。

私たちはこれから、どのような世界を生きていくのだろうか

これまでの歴史学習、中でも「第7章 現代の日本と世界」や、地域の学習から、私たちが生きる社会にはさまざまな課題が投げかけられていることを学びました。現代の日本や世界、身近な地域が抱えている課題を解決する力を、歴史を振り返ることで育むことができません。どうか、課題の原因や背景を調べ、過去の似たような事例を振り返ることで、課題の解決策を模索し、中心にしましょう。

現代の社会が抱える課題の中で、あなたが関心をもてるものを選んで、課題を一つ選んでその歴史を調べ、課題を解決し、よりよい社会を築くためのアイデアを考えてみましょう。

**p. 287**

巻末の「歴史学習の終わりに」のページでは、学習したことをヒントに、社会的な課題の解決に向けて、SDGsの17の目標も参考にテーマを設定し、考察と表現を行う学習活動に取り組みます。

**p. 288-289**

## その他の主な特色

### 小学校との接続、他分野との連携(カリキュラム・マネジメント)

第1章の「歴史ゲームで遊ぼう」では、小学校での学習を、ゲームを楽しみながら振り返る活動を紹介しています。「歴史にアプローチ」では、小学校で働かせた「見方・考え方」を振り返るとともに、中学校の学習で働かせていく「見方・考え方」を紹介しています。

そのページの学習内容と関わりのある他分野の学習内容を示して、接続・連携を図りやすくしています。

**p. 4-5**

**p. 9**

**p. 108**

小学校の学習で登場した人物であることをマークで示して、学習を振り返るきっかけになるようにしています。

江戸時代に、人々がどの寺に詣るかを記録するために、寺が作成したもので、戸籍の役割も果たしました(p.119)。

測入口はどれくらい調べよう。

**200 第5章 日本の近代化と国際社会**

関連 【地理】【公民】人口、日本と世界との結びつき

「私たちの生きる時代へ」は、地理・公民の学習と連携を図りながら、現代社会のあり方を多面的・多角的に考察できるページの一例です。

**地理 p. 156**

**公民 p. 220**

**地理：自然災害**

**公民：資源・エネルギー**

**歴史：現代社会の課題**

**歴史 p. 278-279**

### ICTを活用する「まなびリンク」

紙面に印刷された二次元コードから各種のコンテンツにアクセスして、学習に活用することができます。

貴族の暮らしと農民の暮らし

ここから見られます

リンク 動画 クイズ

▲これらのマークは、二次元コードのコンテンツの種類を表しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
第1章 歴史のとらえ方・ 調べ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校で学習した人物や文化財、できごとなどを振り返りながら、人類の歴史への関心が高まるように構成しました。(1号)</li> <li>○日本の主な文化遺産を豊富に掲載し、国宝・重要文化財、世界遺産にマークを付けて紹介することで、伝統文化の意義や継承への理解が深まるようにしました。(5号)</li> <li>○「身近な地域の歴史を調べよう」の学習では、郷土を愛する心を育むとともに、学校外で活動する際に留意すべきマナーも身に付くようにしました。(1、3、5号)</li> </ul>	p. 2-7  全体  p. 12-18
第2章 原始・古代の日本と 世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「東北地方の歴史を調べよう」の特設ページなどを通して、歴史の謎を紐解く楽しさを実感できるように工夫しました。(1号)</li> <li>○古事記・日本書紀に記された神話を詳しく取り上げ、「黄泉の国の物語」などを通して、古代の人々の信仰やものの見方についてとらえられるように構成しました。(5号)</li> </ul>	p. 19-58  p. 52-53
第3章 中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鎌倉・室町文化について詳しく取り上げ、現在の文化との結びつきについてとらえられるようにしました。(5号)</li> </ul>	p. 70-71 p. 86-87
第4章 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての人の権利が守られる差別のない社会を実現していくために、特に女性やアイヌ民族、琉球王国がおかれていた立場について理解が深まるようにしました。(3号)</li> <li>○桃山・元禄・化政文化について詳しく取り上げ、日本の伝統文化の特徴や、現在の文化との結びつきについて捉えられるようにしました。(5号)</li> </ul>	p. 122-125  p. 112-113 p. 128-129 p. 136-137
第5章 日本の近代化と 国際社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の開国から立憲国家の成立、国際的地位の向上までの道程を詳しく取り上げ、日本の近代化の歩みを国際情勢と関わらせてとらえられるようにしました。(1、5号)</li> <li>○日本の公害問題の原点といわれる足尾鉍毒事件について取り上げ、環境保全への取り組みの歴史的背景について理解が深まるようにしました。(4号)</li> </ul>	p. 158-201  p. 196-197
第6章 二度の世界大戦と 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大正時代に増加したサラリーマンや女性の社会進出について取り上げ、社会の変化と人々の生活・職業との関わりをとらえられるようにしました。(2、3号)</li> <li>○東アジア地域と日本との歴史的交流や軋轢について詳しく取り上げ、これからの関係構築や、課題の解決に向けた考察が深まるようにしました。(1、5号)</li> </ul>	p. 222-223  p. 208-247
第7章 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人類の生命と安全への脅威である核兵器の廃絶に向けた様々な取り組みから学ぶことを通して、平和を希求することの意義について考察が深まるようにしました。(4、5号)</li> <li>○日本式点字を開発した人物を紹介するとともに、点字についての理解を促す資料を掲載し、共に生きる社会のあり方について関心が高まるように工夫しました。(2、3号)</li> <li>○北方領土や竹島、尖閣諸島をめぐる課題を詳しく取り上げ、対立の現状やその歴史的経緯、平和的解決へのあり方についての認識が深まるようにしました。(1、5号)</li> </ul>	p. 282-283  p. 283  p. 266-267
歴史学習の 終わりに	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これからの社会を築いていくために、社会とどのように関わればよいかを考察する学習活動を設けて、公民的分野の学習への接続が図られるように構成しました。(3号)</li> </ul>	p. 287-291
巻末資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界地図の歴史や、郷土の代表的な文化財・旧跡を紹介し、科学的真理の探究や、文化遺産の保全について素養が深まるように工夫しました。(1、5号)</li> </ul>	巻末④-⑥

## 3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育に 関わる配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく配色にしています。</li> <li>・紙面でもデジタル画面でも見やすく読みやすいユニバーサルデザイン・フォントを使用しています。</li> <li>・見開き単位で資料に通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしています。</li> <li>・キャラクターのふきだしの文章は、読みやすさを考慮して改訂しています。</li> </ul>
社会の多様性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターのイラストは、性差や障がいの有無などに関わらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子を描写しています。また、在日外国籍の人たち、アイヌ民族の人たちなどの社会的少数者をめぐる歴史や残された課題について理解し、考えることができるように編修しています。</li> </ul>
用紙・印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丈夫で軽量かつ写真などの表現力に優れた用紙を使用し、鮮明に印刷されています。</li> <li>・環境への負荷を軽減するために、再生紙を使用し、印刷は植物油インキを使用しています。</li> <li>・判型は、資料を大きく掲載できる幅広の AB判で、長期間の使用にも耐える堅固な製本です。</li> </ul>
教育の ICT化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に準拠した指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書(+教材)を発行します。指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の教材版には、動画、アニメーション、フラッシュ型教材などの各種のコンテンツや機能を搭載します。</li> </ul>

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
I05-8	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1-3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	歴史 O17-72	中学社会 歴史 未来をひらく		



## 1. 編修上、特に意を用いた点や特色

### 学習指導要領との関係

#### ① 「問い」を軸にして課題解決的に追究していく構成

単元(章)を通して課題解決的に学習を進められるようにして、主権者・市民として必要な、課題を捉え、見通しを立て、主体的に解決していく力の育成が図られるようにしました。

#### ① 章の学習を見通す導入ページ「学習のはじめに」

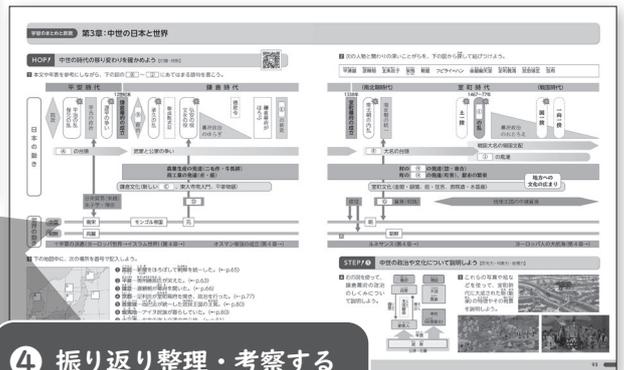
章の学習内容をイメージできるような資料を中心に構成しています。資料の読み解きの活動を通じて、生徒が興味・関心や見通しをもって、章の学習に取り組むことができるようにしています。

#### ④ 章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」

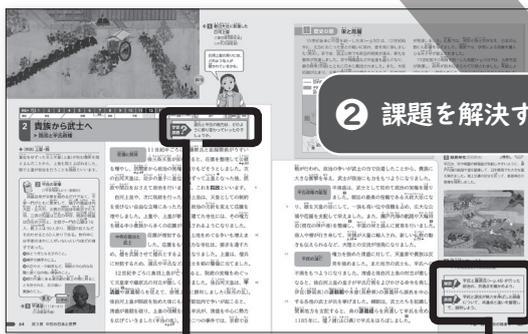
各章の終わりに設けた、章全体の学習を振り返って整理するコーナーです。節の学習を振り返る「HOP!」、資料から時代の特色をつかむ「STEP!1」と「STEP!2」、そして、時代の転換点・特色を考察し、「章を貫く問い」と向き合う「JUMP!」の3段階の構成で、基礎・基本の定着と次章への準備が確実に図れます。

▼ p. 59-61

▼ p. 95



▲ p. 92-93



章の流れ

#### ③ 捉え直して考察する

▼ p. 88-89



#### ① 課題を捉える

次の章へ

#### ④ 振り返り整理・考察する

#### ② 課題を解決する

**確認!** 平氏と藤原氏(+p.48)が行った政治の、共通点確かめよう。  
**表現!** 平氏と源氏が勢力を伸ばした経緯について、共通点と違いを整理して、説明しよう。

**学習課題?** 源氏と平氏の勢力は、どのように移り変わっていったのでしょうか。

本時の見通しを示す「学習課題」

本時の学習内容を確認し、自分の言葉で表現する「確認」「表現」

#### ② 「本時ページ」

見開き2ページ=1単位時間の構成で、見開きごとに「学習課題」(学習の見通し)と、それに対応するスマールステップ「確認/表現」(振り返り)を設け、生徒の主体的な学習を促します。

#### ③ 視点を変えて学習を捉え直す「特設ページ」

本時で学習した内容について、視点を変えて捉え直すことができるテーマを設定しました。生徒にとって身近な話題と照らし合わせ、多面的・多角的に考察できるようにしています。

## ② 「歴史的な見方・考え方」を働かせた「深い学び」を支援

中学校の「歴史的な見方・考え方」を働かせた学びを、効果的に進められるようにしています。

小学校の歴史学習では、主に歴史上の人物の目録したことや行動に注目してきました。中学では、人物の目録したことや行動の背景を広く、世界や日本全体、身近な地域との関係も踏まえるながら歴史を見たり、考えたりしていきます。そのために求められた「歴史的な見方・考え方」を紹介しします。

**時期や推移**  
 1. 1つの時期の中で変化がある。
 2. 時代が異なる。
 3. 地域が異なる。
 4. 国や文化圏が異なる。
 5. 社会状況が異なる。
 6. 価値観が異なる。
 7. 考え方が異なる。

**比較**  
 1. 人物の行動や考え方を比較する。
 2. 人物の行動や考え方の背景を比較する。
 3. 人物の行動や考え方の結果を比較する。
 4. 人物の行動や考え方の影響を比較する。
 5. 人物の行動や考え方の意義を比較する。
 6. 人物の行動や考え方の価値を比較する。
 7. 人物の行動や考え方の意義を比較する。

**関連**  
 1. 人物の行動や考え方が、他の人物の行動や考え方に影響を与えている。
 2. 人物の行動や考え方が、社会や文化に影響を与えている。
 3. 人物の行動や考え方が、歴史の進歩に貢献している。
 4. 人物の行動や考え方が、現代社会に示唆を与えている。
 5. 人物の行動や考え方が、未来の社会に示唆を与えている。
 6. 人物の行動や考え方が、人類の歴史に貢献している。
 7. 人物の行動や考え方が、人類の未来に示唆を与えている。

第1章の「**歴史にアプローチ**」では、**中学校の学習で働かせていく「見方・考え方」**を詳しく紹介しています。

p. 94-95

この画面は、歴史学習のためのデジタル教材のスクリーンショットです。左側には、戦時中の写真や文書が並び、右側には「近世の日本と世界」というセクションがあり、人物の肖像画や地図が紹介されています。下部には、学習の進捗や関連する資料へのリンクが示されています。

各章末ではその**時代の特色**について振り返り、次章のとびらでは資料の読み解きを通して**時代の変化**について考察する構成にして、「**見方・考え方**」を働かせた学習が促されるようにしています。

## ③ 「対話的な学び」を促す多様な活動例を紹介

第1章の「**身近な地域の歴史を調べよう**」では、身近な地域の歴史を調べる学習活動の中で、対話的な学びの進め方の例を紹介し、生徒が関心や意欲を高められるようにしています。

5 発表して振り返ろう

おたがいの発表から何を学べるかな

p. 18



発表会を開いて、各グループが調べたことを発表しましょう。また、発表が終わったら意見交換をしましょう。他のグループの調査と、自分たちの調査との共通点や違いを考えながら発表を聞きましよう。意見交換が終わったら、調査全体を振り返りましょう。自分たちが課題について調べることができたこと、不足していたこと、改善方法や、次に調べてみたいことなどについて、考えてみましょう。

p. 14

地域調査の手引き 2

【意見を共有して、アイデアをまとめよう】

◆意見を出し合って共有する  
 グループで学習を進めていくときには、それぞれ意見を出し合って、みんなで共有し、グループとしてのアイデアをまとめていくことが大切です。それにはいくつかの方法がありますが、ここでは一つの例として、ブレインストーミングとよばれる方法を紹介します。

◆ブレインストーミング  
 課題について、一定の時間内に、グループで自由に意見を出し合います。その際、次の基本ルールを守るようにします。



1 グループで意見を出し合う

◆意見を整理して、アイデアをまとめる  
 次に、ブレインストーミングで出した意見を整理して、グループのアイデアをまとめていきます。その際には、出された意見一つ一つを丁寧に書き出して、共通点のあるものを近くに置き、見出しをつけてまとまりを作ったり、そのまとまりごとの関係を矢印で結んだりすると、アイデアがまとまりやすくなります。一つのテーマに対して、さまざまな見方・考え方で整理することができ、それをグループで共有することができる方法の一つです。

## ④ 現代の諸課題の解決に向けて社会に参画していく意識や態度を涵養

SDGs 「**歴史学習の終わりに**」のページでは、日本の歴史の大きな流れを振り返り、これまで学習してきたことを活かして、**現代社会の課題について、SDGsの視点から問いを立てて調査・考察し、発表・交流する学習活動を紹介しています。**

このページは、SDGs（持続可能な開発目標）の視点から歴史学習の成果を振り返り、現代社会の課題について調査・考察し、発表・交流する学習活動を紹介しています。SDGsの17の目標が示され、それぞれに関連する歴史的な事例や現代の課題が紹介されています。

p. 288-289

このページは、日本の地図と関連するテキストを示しています。赤い枠で「SDGs 3 健康」と「11 まちづくり」が強調されています。これは、現代社会の課題と歴史学習の成果を結びつけるための重要なポイントです。

特設ページに**SDGsの目標と関わり**の深い学習内容がある場合は、**右ページの下にマークを掲載**しています。

## 人権・多文化共生

部落差別の問題や、アイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史と、それらに関わる現代の社会的課題を扱い、**人権尊重・多文化共生の意識を高められるようにしています。**

p. 80-81、87、122-123、125、167、174-175、176-177、178-179、192-193、220-221、255、277、280-281 ほか

このページは、人権・多文化共生に関する歴史的な事例や現代の社会的課題を扱っています。アイヌ民族の歴史、琉球王国の歴史、在日韓国・朝鮮人の歴史など、多岐にわたるテーマが取り上げられています。また、現代社会におけるこれらの課題の解決に向けた取り組みも紹介されています。

p. 80-81

p. 122-123





● **社会の多様性への配慮**

- ・キャラクターのイラストは、性差や障がいの有無などに関わらず、多様な生徒が互いに協力し合いながら学習に取り組む様子を描写しています。
- ・アイヌ民族の人たち、在日外国籍の人たちなどの社会的少数者の歴史と、それらに関わる現代の社会的課題を扱い、人権尊重・多文化共生に向けた意識を高められるようにしています。

● **用紙・印刷・造本**

- ・丈夫で軽量かつ写真などの表現力に優れた用紙を使用し、鮮明に印刷されています。
- ・環境への負荷を軽減するために、再生紙を使用し、印刷は植物油インキを使用しています。
- ・資料を大きく掲載できる幅広の判型(AB判)で、長期間の使用にも耐えうる堅固な製本です。

## 2. 対照表

教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	該当箇所
第1章 歴史のとらえ方・調べ方	【6】		p.2
1節 私たちと歴史	3	A(1)	p.2-11
2節 身近な地域の歴史を調べよう	3	A(2)	p.12-18
第2章 原始・古代の日本と世界	【18】		p.19
第2章の学習のはじめに	1	B(1)	p.20-21
1節 人類の出現と文明のおこり	5	B(1)	p.22-31
2節 日本の成り立ちと倭の王権	3	B(1)	p.32-37
3節 大帝国の出現と律令国家の形成	3	B(1)	p.38-43
4節 貴族社会の発展	4	B(1)	p.44-55
学習のまとめと表現	2	A(1)、B(1)	p.56-58
第3章 中世の日本と世界	【16】		p.59
第3章の学習のはじめに	1	B(2)	p.60-61
1節 武家政治の始まり	5	B(2)	p.62-71
2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化	5	B(2)	p.72-81
3節 結びつく民衆と下剋上の社会	3	B(2)	p.82-91
学習のまとめと表現	2	A(1)、B(2)	p.92-94
第4章 近世の日本と世界	【21】		p.95
第4章の学習のはじめに	1	B(3)	p.96-97
1節 結びつく世界との出会い	4	B(3)	p.98-107
2節 天下統一への歩み	3	B(3)	p.108-113
3節 幕藩体制の確立と「鎖国」	5	B(3)	p.114-125
4節 経済の成長と幕政の改革	6	B(3)	p.126-139
学習のまとめと表現	2	A(1)、B(3)	p.140-142
第5章 日本の近代化と国際社会	【26】		p.143
第5章の学習のはじめに	1	C(1)	p.144-145
1節 近代世界の確立とアジア	5	C(1)	p.146-157
2節 開国と幕府政治の終わり	3	C(1)	p.158-165
3節 明治維新と立憲国家への歩み	7	C(1)	p.166-183
4節 激動する東アジアと日清・日露戦争	5	C(1)	p.184-193
5節 近代の産業と文化の発展	3	C(1)	p.194-201
学習のまとめと表現	2	A(1)、C(1)	p.202-204
第6章 二度の世界大戦と日本	【20】		p.205
第6章の学習のはじめに	1	C(1)	p.206-207
1節 第一次世界大戦と民族独立の動き	5	C(1)	p.208-217
2節 大正デモクラシー	3	C(1)	p.218-225
3節 恐慌から戦争へ	5	C(1)	p.226-237
4節 第二次世界大戦と日本の敗戦	4	C(1)	p.238-247
学習のまとめと表現	2	A(1)、C(1)	p.248-250
第7章 現代の日本と世界	【15】		p.251
第7章の学習のはじめに	1	C(2)	p.252-253
1節 日本の民主化と冷戦	4	C(2)	p.254-261
2節 世界の多極化と日本	4	C(2)	p.262-273
3節 冷戦の終結とこれからの日本	4	C(2)	p.274-283
学習のまとめと表現	2	A(1)、C(2)	p.284-286
歴史学習の終わりに ～歴史を振り返って、未来を構想しよう～	3	C(2)	p.287-291
巻末資料：江戸時代の産業と交通/昔の国と、都道府県の対照図/ 歴史年表/世界地図の歴史/各地の主な遺跡・史跡・できごと	計125 (予備10)		巻末①-⑩